京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十二年　紀元二千五百六十九年
本紙定價　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊(日刊)
廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久神一郎
京城西署西小門通（電話八六三）
發行所　京城新報社

論説

經濟範圍擴張の大勢

ケー生

米國に於ては既に統一關税を布哇及比律賓に施行し帝國主義を現實せしめたるのみならず、昨夏大統領ルーズベルト氏が紐育に於て開催せられたる全米協會の定礎式に臨んで爲したる演説は明かに南北兩米統一經濟の全米主義を表顯したるものと云ふべし、英米に於ける此等の新運動は國内及び其の他に於て幾多の反對を有し急速之が完全なる實行を見ること容易ならざるべしと雖も、大勢は既に討論の時代を過ぎて計畫の期に入れるの概あり、若し果して此の大勢にして豫定の如く進行すとせんか、英米兩大國の富强は宇内に冠絕し、外交に軍備に企業に資本に歐大陸諸國たるもの獨力到底之れと競爭し得るものにあらず、且つ夫れ歐大陸諸國相互の間は資本及勢力の移轉甚だ容易にして、企業及金融殆んど相共通し人種、民籍亦た相混住す、交通の利、通信の便縱横相連り、獨り關税の障害を限くの外、經濟に國境ありとし思はれざる有樣なり、必ずや此等諸國の間に、經濟上の大擴張又は大合同は起らん、獨逸が全ゼルマン主義を抱懷するや既に久し、獨、墺、荷及び一部バルカンを統合する大經濟體の實現なしと云ふべからず、露國が全スラブ主義を包藏するや久し、少くともバルカン一帶のスラブ人種を籠蓋して一大擴張を策することなしとせんや、佛國に關しては吾人久しく何等の擴張策を聞かざるも、獨逸の形勢如上の如くんば伊、西、白、佛を合同する全ラテン主義の經濟同盟を策するに至らんこと決して架空の見と云ふべからず、然らずんば經濟上の勢力均衡は到底得て保つべからざればなり、東洋に於ける日清間經濟同盟の新國際經濟主義も亦た遠からずして識者の唱導する所とならん、各國民は此等經濟擴張に依て以て競爭上の勢力を保持し、各自の國利を增進し得るのみならず、此の結果として軍備の節減、企業及資本の共通、不毛の開拓、勢力の利用、文化の普及、平和の增進、相次いで現はるべきを以て世界人類の福利亦大なるものありと稱するを得べし。

關税の制度は實に經濟擴張の大勢に對する一大障害なり、帝國主義及新國際經濟主義は此の障害の撤廢、又は輕減に於て行はると雖も、各自尙は其の大範圍に於て經濟を限劃し、幾多關税の殘存するものあるを免れず、更らに經濟の範圍を擴張して無限に到り世界經濟關税を全廢するにあらずんば世界經濟の理想を現實するを得ざらん、而して世界經濟の現實するにあらずんば、經濟に國境なしとの法則は完全の力を有する能はざるなり近時の發明に係る空中飛行器の發達は各國の軍備及關税制度の上に根本的の改革を促すに至るべしと雖も、其の今日に於ける如き規模なるに於ては、大陸中の關税の撤廢も倘ほ且つ不可能の感あり、少くとも今二十世紀の經濟主義は帝國主義及新國際經濟主義の流行を以て、歷史を染むるものと覺悟せざるべからず、而して東洋經濟の潮流も亦た此の大勢を避くるを得ざらん、我が國民の此の大勢に對する覺悟果して如何かある（終）

寄書

危險極まる京畿道

旭川

從來暴徒に關して當局官憲の公表したる報告に依りて見れば半歲前既に暴徒は全道に亙りて殲滅せられたるものゝ如かりしが然るに此の頃新聞紙に依りて報道せらるゝは所在暴徒の來襲を傳ふる夫れに非ざるはなし、孰れか信ずべくして孰れか信ずべからざる。彼の伊院驛を燒討したる暴徒數の如きも、鐵道側は二百餘と云ひ新聞紙は三百名と傳へき、然るに近頃其の擧に加はれる暴徒の一人にして派遣軍隊の手に捕へられたるもの其の數僅かに十二人なりしと自白せりと公表せられたり。此れ其の一例に過ぎずと雖も、併し孰れか信ずべくして孰れか信ずべからずとする。今や所在に暴徒の來襲を報ずるものあるも、報導誇大に失せるの觀ありと雖も全然無根の談にあらざるは論なし、果して然らば當局官憲が全道に亙りて匪徒の殄滅せるを唱ひたるは虛さすべきか、然らば京畿道は暴徒の集合點と成れるものなりとの新聞紙の報道は信ずるに足るを推斷するを得べし、予が友某の如き兩三日前永登浦近郊に獵して兇彈三發の御見舞を受け、危く暴徒に殪せられんとし周章狼狽して逃げ歸りたる事實に徵するも、予が推斷は多く語らざるものゝ如し。然るにても當局官憲は何の必要ありてか其の事實を詐ること斯くの如く甚しきや、殄滅と蜂起とは正反對なり、其の言にのみ聞きて永登浦近郊に獵したる予が友某の如く、其の言に欺きて死地に陷りたるもの少しとせざるが如し頃日來狩獵者の行衞不明頻々たるは當局官憲が其の報告を僞れるより來れるものと云ふも不可なりとせず。當局官憲は其の責任の歸する所を明にして可也。（三日稿）

和歌募集

勅題「新年雪」

選者　九皐館去留

何首にても隨意、用紙用箋類も又御隨意の事、締切期限十二月二十日、發表は四十三年一月元旦の本紙上を以てす、同好の士奮て投詠せられんことを希ふ

十一月廿日

本社編輯局

◎新刊紹介

●東京經濟雜誌●●●●●（一五一八）例により金融の景況を劈頭に載せ前號の續き關税同盟論、殖民地關税問題（小林法學博士）工業國としての日本（北崎）を載せ他工場法案を讀む、鼎軒先生と勞働問題、保護貿易論者を誠む（大越前公使）北清經濟時事（半山）取引所の組織に就て（江口理事）本邦に於る米穀需給關係、原田等を戴せ諸統計、諸報告を載す△十二錢△東京々橋彌左衞門町經濟雜誌社

●大阪仕入案內●●●●（十一月號）表題の示す通りの雜誌にて大阪商工藝品産物品の仕入をなす者の羅針盤たるべし精細なる最近大阪市街地圖をも附し論説記事商況小説文苑入阪商工家案內及び流行發着府問表をも載す△十一錢△大阪西區京町堀上通四大阪案內社

●數理之友●●●（一ノ三）佐藤鐵吉氏主裁の數學雜誌にして本號には過不及算に就て、秘訣を明解するに就きて、比例は大嘘の語である、春夏秋冬の三號、東西南北と春夏秋冬、春夏秋冬、舊曆廢止に就て、別あり、支那の春夏秋冬、兵學校、機關學校、其他文官普通、大阪正敎員、師範中學外二校の試驗問題及び解答などあり說明懇切を極む初等者の購讀すべきものなり△東京神田錦町三數理學修學院

鎭西八郎

第四十七席

伯山改　神田松鯉口演

此時彫江鬼夜叉の兩人は爲朝の手に縋りまして　鬼「是れは我が君、僅か一管の笛の爲めに、御子樣を御斬りになると云ふことは、少しく輕々しいやうに存じます、何卒御許し下さるやう願ます」と申上げた彫江も「何うぞや僅か七歳の子供でありますから、御許しなされて下されませ」と淚を流して願ひました、爲朝は其手を振りほどき　爲「イヤ汝等の言ふ所は誤れり、笛は我家の重器である、朝若は平生より父を輕んずるから、斯樣な間違が起るのだ、繋ぎ置け／＼」と突如朝若の襟髮摑みて自から紙鳶へ引括り、揚げよ／＼と下知し給へば、爲賴は恐る／＼父の前へ額づき「御憎りは御尤もに候へ共今日まで兄弟三人にて暮し侍りしに、朝若なくては寂しう存じまする」と泣いて詫びます、彫江も又ョヽさ許りに大地へ泣伏して「まだ小供朝若のことなれば何卒／＼御許し下されて……」と淚に塞る聲ふるはせまするのも耳に入れず「我れ十三歳の昔より罪なき者を殺せしことはなし謂れなき汝等が諫言無禮なり」と自から朝若を紙鳶へ引括り、二三十歩引下り、十尺四面の紙鳶をイト輕るらかに引上げ給ひ、折しも起る卯辰の風、颯々と許りに吹起り、紙鳶は見る／＼うちに空中に揚りて、下田の海面さして雲井遙かに伸して往く、爲朝は糸のあらん限り繰延ばせば、爲賴、彫江、鳥若、鬼夜叉等は唯々泣然として居りまする、やがて爲朝は紙鳶の糸を赤松の幹に繋ぎスラリ刀を拔き給へば、一同今更ながら驚き呆れ、爲朝の身体に縋付くを拔放ち、プツリと許りに索を斷ち給へば、紙鳶は風のまゝに上りつ下りつ飄々として行方知れずになりました、一同思はずアッと許りに大地へ泣伏した、漸あつて西戌の方に當つて一發の煙火が上つたのを見て、爲朝は思はずニッコと笑ひ給ひ泣き喜ぶ彫江以下の者を連れて館へ歸り給ひ、密かに彫江、爲賴、鳥若、鬼夜叉の四人を招かれ　爲「さて汝等能く承はれ、今日我れ朝若を紙鳶に縛付けたるは如何にも親として情け容赦もなきものと思ふであらうが、實は昨日足利義康の許より使來り、小供一人與れよと云ふ、固より同じ源の流れを汲むことであれば、遣はしたきは山々なれど、我れは假令にも朝敵の名を蒙むつて流罪となりし者なれば、朝敵の子を貰ひしとあつては足利の名にもかゝはることゆゑ、我れ一つの計略を設け紙鳶に縛して朝若を捨つる故、汝は之れを拾ひ往けと、使者に言含めて立去らしめ、今日態と怒りて斯樣な手荒らなことを致せしなれ、然し其方等も見たであらうが、下田の方に當つて上りし烟火こそ、朝若が無事に先方へ着きし報知なれば安心したが宜からうと、始めて明かされましたので、彫江始めの少くなき安堵の思ひを致しましたが其當座は皆々啼泣いて暮らしましたのも誠に有理のことであります、さて夫れより十日程過ぎました正午少し過ぎ、俄かに冲の群鹿頻りに泣きまするので、爲朝は耳を側立せられ、〇江鬼夜叉等に向はれ「オヽ汝等彼を見よ海面頻りに物騷がしきは討手の兵船、近寄りしと覺ゆれたり、鬼夜叉疾く物見して參れ」と仰せられ、鬼「畏つて候」とツと馳出して小高き岡に上りて見渡せば、兵船二十五六艘もあるべし、敵は正しく五百餘騎なれば、急ぎ馳せ歸りて　〇「我が君一大事にて候、敵は正しく五百餘騎なり、最先に庭に木瓜の紋付いたる幔幕は多分工藤茂光にて候はん、三鱗は北條の軍兵に相違ない岸を去ることゝ遠からず早く防戰の用意遊ばし候へ」と手に取る如くに申述べる、爲朝は冷笑つて「工藤、北條の奴輩何百人來るとも恐るゝに足らざれど、無益の殺生したからとて何の役にも立たざれば我れは既に覺悟して居るぞよ」と彫江、爲賴等を引連れて廣庭の方へと赴かれた。



제280호 1909. 12. 5.

寶の持ち腐れ

京城新報

世間兎角の評ありし、否今日に於ては世人をして批評の價値さへ無きものと思はしめ其存在さへ殆ど疑はしき東洋拓殖株式會社は、創立以來既に一ヶ年を經過したり。而して此一ヶ年間に於ける會社の營業成蹟なるものを見るに殆ど見るべきものなく、株主及世人をして唖然たらしむるの外なし。試に余輩の知れる範圍內に於て同會社の爲し得たる成蹟なるものを記せば、韓政府の持株に對する韓皇室の引繼きすら未だ全く明瞭ならず、金融部は其の有する五十萬圓中より僅に其半額を貸し出せるに過ぎず。而して會社の有する四分の一拂込二百五十萬圓の內の五分の一即ち五十萬圓を金融部の資金に當てたる外は、悉く以て五分利附の軍事公債を購ひ、以て利殖の道を圖れり。而して事業部の仕事としては拓殖法によりて許されたる營業項目中の第一乃至第七の事業に就ては、何等の着手さへなく、唯僅に附帶事業たる水產事業に就き、多少の調査を爲したるに過ぎず。事實既に此の如くなれば、世人が同會社に對して批評を試みるの勇氣さへなきは、誠に當然と謂ふべし。余輩亦た世人と此感を同じうするを悲しむ。然れども余輩は當初より信じたるが如く、拓殖會社が半島開發上に重要の機關たるは、今更云ふ迄もなく、唯同會社が空しく形骸のみを有し、血液の循環なく神經の衰徵せるを怨むのみ。之を活動の健康体たらしむるは豈世人及び株主の務ならずや。

抑々東拓の創設せらるゝや、政府は特に東拓法を制定し、之に據て同會社資本金拂込金額の十倍の社債を募集するを許せり。是れ取りも直さず政府が拂込十倍に對して保證を與へたるなり。現在會社が有する拂込資金は二百五十万圓なるが故に、會社は正當に二千五百萬圓の社債を起す事を得るなり。然るに會社は之を募集するは愚か、其の有する僅の二百五十萬圓すら、其大部分は軍事公債と化し、僅に貸し出せる二三十萬圓の資金は、何等拓殖事業に好影響をも與へ居らざるにあらずや。

今や半島に於て最も必要とする所のものは曾て曾禰統監が云へりし如く、產業の振興なり。而して此必要なる產業の振興は、豐富なる低利資金の融通に俟たざるべからず。而して東拓會社は此の必要なる低利資金を今立ち處に優に二千五百万圓を供給し得るの資格を有しながら、各方面に向て耳を掩うて敢てせず。而かも余輩は某重役の言な[illegible]會社は決して資金[illegible]らざるも、半島の現狀は未だ確なる大口の借り手なく[illegible]は借り得べき確なる事業あらずと。何等の謬解ぞ、余輩の見を以てすれば半島は各方面に於て大なる資金を渴望し居れり。試に其一例を擧げんに、今假りに農事經營者に向て資金の供給を[illegible]すとするも、二千五百萬圓位は優に放資し得るにあらずや。殊に韓人に對して目下度支部が地方產業保護の爲めに經營せる金融組合なるもの既に百箇所もあり。今東拓が此金融組合及將來設置せらるべき二百の組合を合せ有し尙一組合の資金を五萬圓に增額すとせば優に一千五百萬圓を放資し得るにあらずや。其他資金に渴せる幾多の各地水利組合あり。重役等が放資の途なしとして徒に拱手傍觀するは、會社の使命を忘れ、各自事に熱心ならざる者と謂ふべし。此く觀じ來れば幾多確なる大口の需要は、到底僅少二千五百萬圓を以て滿足すべくもあらず。會社放資力の極度一億圓を以てするも十分なりとは云ふべからず。此の如く放資の途はあり一億萬圓の社債を起す資格は有しながら、重役等は何を苦で拱手し居るや。世人が今日會社を目して無能の團體となすも、余輩は此れが辨解の辭を有せず。一億万圓は優に以て半島に偉大なる功果を納め得ん。會社の重役たる者徒らに寶の持ち腐れをなし、世人の無能呼ばりに甘ずるが如きは、決して策の得たるものにあらざる也。

東京電報

▲議會の票決新方法

議會に於ける票決の新方法として各議員席の兩端に贊否の兩釦を設け之を推せば議長席の後方に設けある電燈に點じ總數贊否の差迄一見明瞭に表るゝ方法を採用するに內定せり(四日)

▲和田總長の渡英

日英博覽會事務總長和田彥次郎氏は神崎事務官と共に愈七日午前八時新橋發十一日神戶より平野丸にて渡英す

▲賀陽宮容態言上

梨本宮、同妃兩殿下は京都より御歸京　天皇、皇后兩陛下に御對顏邦憲王殿下の御容態を言上あらせられたり(同上)

▲肥料會社の合同

全國肥料會社の大合同を企畫し鈴原定吉氏の社長たる東京人造肥料會社中堅となりて運動し居れり(同上)

紐育電報

▲漫遊團の渡日期

米國紐育のフランクシーシクラス商會發起の日本漫遊團七百余名は明年一月十[illegible]商[illegible]年二月頃に第一回の漫遊[illegible]七百余名を組織して來遊すべし(四日着)

▲米尼宣戰の布告

米國ニカラガ間の紛亂益急にして來る月曜の國會に於て宣戰を布告する筈なり

歐州電報

▲英國の製艦決定

英國政府は愈々ドレットノート形戰鬪艦四隻を建造する事に決定し來一日龍骨据付に着手す(四日着)

▲伊內閣の總辭職

伊太利內閣は改革調査委員會の結果に依り總辭職を爲せり(四日着)

▲英國議會の解散

英國首相は下院に於て議會の解散は皇帝陛下の裁可を經たりと宣言せり(同)

北京電報

▲外交解決と委員

北京政府は滿洲外交問題解決の爲め徐世昌を特別委員に任命せり(四日)

雜報

本邦曆は獨立せん

本邦に於ける曆の編纂は年々英國グリーニッチ天文臺より發行せる原曆によりて之を我天文臺に於て本邦に當てゝ改算を加へ始めて完成せらるゝ次第なるを以て本曆の編纂は專ら其基礎を英國天文臺に仰ぎ未だ獨立的製作を得ざるに反し歐米各國は何れも其材料を備へて自國に於て編纂しつゝあり我當局にても將來之が實行を計るの方針にて先に倫敦に於ける萬國測地學會々議に出席せる寺尾博士は歸途各國の曆に關する取調を爲すこととなり又蘆野海軍大學教授も先頃曆調査の爲め米國に出張し目下研究中なれば以上の調査完了と共に本邦曆の編纂は全く本邦に於て完成せらるゝこととなるべしとなり

三派提携の分裂

昨紙所報の如く三派の幹部員は韓人商業會議所に會合し相互の主張を闘はしたるが一進會は飽く迄時世の現狀に顧み日韓合併の已む可からざるを論じ韓國民の安寧幸福を永遠に進續するは此策を措いて他に途なしとて極力抗爭したる結果遂に大韓協會側の激怒を招き將に修羅の活劇を演ぜんとせり此間に於ける西北學會は[illegible]の態度を執り形勢を觀望し居りしが暗に一進會に應援せるものゝ如く茲に三派の提携は分裂したる由

兩派分裂の餘波

大韓協會と一進會の提携分裂を宣言し一進會は同日日韓政治上の合邦說を發明したる別項の如くなるが一方閔泳韶

[illegible]金宗漢、李[illegible]、閔[illegible]、李[illegible]等[illegible]學者數十名の發起[illegible]會を開催し[illegible]を協議[illegible]五日[illegible]大演說[illegible]り昨四日早天より總理李完用に會見[illegible]統監を訪問し二時間[illegible]て大韓協會[illegible]統監を訪ひ引續き一進會長李容九も統監を訪問したるが此三人三色の談話は何事なるや聞知せざれども共に時局問題に關する議論なるや疑なし政界に動搖何事をや生み出す大山鳴動して鼠一匹か

一進會の上奏文

日韓合併に關する一進會の韓皇に奉れる上奏文左の如し尙ほ是れと同時に曾禰統監、李首相にも上書したり

▲皇帝に上る書

一進會長臣李容九等一百萬の會員二千萬の臣民を代表し誠恐誠惶謹で頓首拜して大皇帝陛下に上言したてまつる伏て以るに臣等之れを聞く人窮すれば本に反る故に憂愁悲苦すれば未だ曾て天を呼ばずんばあらず疾痛慘憺すれば未だ曾て父母を呼ばずんばあらずと今陛下は我二千萬同胞の父母にして我三千里疆土の天なり是を以て敢て天に號ぶ所のものを以て之れを陛下に號び父母に呼ぶ所のものを以て之れを陛下に呼びたてまつる臣等の分豈に之れを陛下に呼號したてまつるに忍びんや唯た願くは陛下の至仁至慈なる聖聰を不忠の言に垂れて其辭說を綴ふる事を得せしめたまへ臣等の苦衷は實に死より苦しきの苦みあり何となれば死せんと欲して死すること能はず生きんと欲して生きること能はざればなり此れ唯た臣等に在りてのみ獨り然るに非ず我二千萬同胞實に死せんと欲して死すること能はず生きんと欲して生きることを能はず盖し夫れ今我大韓國を以て之れを病人に擬せんに命脈の絕へたるや既に已に久し臣等の之れに呼號するは徒らに死尸を抱きて慟哭せるのみ人之を未だ死せずと謂へるは徒らに死尸の猶ほ生けるがごときを見ればのみ今我大韓國の形勢は豈に此に似たるなきを得んか外交何くにか在るや陛下の旨を以て隣邦と議すべきなきなり財政何くにか在るや陛下の志を以て下臣と謀るべきなきなり軍機何くにか在るや陛下の威を以てこれを寇盗に加ふべきなきなり法憲何くにか在るや陛下の仁を以てこれを匹夫に加ふべきなきなり百官有司職を分ち政を掌る其賢を登け良を擇ぶものは誰ぞや陛下二千萬同胞臣民の爲めに請ふ之れを淵鑒したまへ臣等二千萬同胞臣民に代り請ふ盡く苦衷を陳べん夫れ國民なるものは國と生き國と死する固より其所なり然れども屢ば危急存亡の數に遭ひしに未だ曾て一たびも皇詔の的確に國民に宣するに死守を以てしたまひしことを聞かず陛下何ぞ早く臣等をして國と死せしめたまはざりしや陛下の至仁なる二千萬同胞が皆ひ共に溘死して不還あることなきを見たまふに忍ばせられざるか朝に既に之れに斬られ夕に又之れに刖らるゝ將に五刑を具さにせらるゝの後に非れば即ち死することを許されざらんとす譬へば蚯蚓の蟻屯に困しめられ熱沙の上に宛轉せるが如し其一路殺を願へるや久し在昔西土の民其君に哀訴して曰く我に自由を與へたまへ否らざれば我に死を與へたまへと臣等は豈に敢て自由を求めんや唯だ死生とも唯だ陛下の命のまゝにせんことを請ふのみ陛下既に死を賜ふに忍ばせられずば豈に亦た生を賜ふにも忍ばせられざるか二千萬同胞臣民の危困極せられざること謂ふべし[illegible]て帝の心に在りと又曰く茲に念ふこと茲に在りと唯だ陛下之れを決擇したまへ易に曰く石に困み蒺藜に據る其宮に入りて其妻を見ず凶と甲午以降臣等熱らく我國運を察するに毎に此の象に泣けり乃ち天道の窮困至極せるか何ぞ相周旋せざる彼日清兵を交ふるの秋に方りてや苟も我の中正にして惑はざりしならんか宜く北向の禮を執りて日本と絕ちしになるべし我君し之れを以て滅亡せられんか世界誰か亡國破家ならん禮を執りて正命に死なば足れり太祖高皇帝の訓に曰く北には禮を失はざれ南には信を失はざれと祖訓に終始せは死も亦た榮ならずや我既に一夕忽ちにして五百年の禮服を裂き總髮平さして自ら獨立の嘉號に眩せり石に若しまさらんと欲すと雖も其れ得べけんや其一たび日本に聽き既に獨立を爲言せしや我陸には一卒兵なく海にも一艦卒なし此れ豈に國としも之れ名くべけんや宜く一意日本に聽き更に一新して獨立の實行に期すべし(續)

首相の反對上奏

一進會より執奏方を接受したる日韓合併上奏書は事頗る重大なる[illegible]以て今尙韓皇に捧呈せず李完用の手許に保留し居れり而して是に對する同氏の態度は頗る强硬にして激烈なる反對を持するものゝ如く該上奏書を闕下に捧呈する時は同時に反對の上奏書を奉り皇帝の聖斷を仰がん筈なり尙は一方同氏は大韓協會長金嘉鎭及國是遊說團觀光團の有力者數名を使嗾して反對運動を開始せしむべく計畫し更に今五日獨立館に於て一大演說會を開催するに決し居れり

一進會の聲明書

突如四日早朝を以て一般に發表したる一進會の合邦論に關する聲明書は大要左の如きものなりと

一韓國は五百年來李朝の鴻恩に浴するを以て皇室の尊嚴を保全すること

一日本が從來韓國保護に要したる經費は之を產業發達の爲めに使用し其開發を期する事

一日本に合邦する時は韓國民は一躍一等國民の班に列し得ること

而して之れが發表に就ては一昨三日夜各道より集りたる委員七十餘名中二名を除くの外滿場一致を以て可決し茲に其の發表を見るに至りたるものなりと

●仁川居留民會開會

仁川居留民會は既報の如く一昨三日午后七時より開會、出席議員は青木、慶田、竹田津、市川、稻田、穎原、八田、加藤、伊東、加來、桑野の十一氏にして奥田氏缺席せる爲め青木氏議長席に就き先づ四十二年度民團歲入出追加豫算及び民團債起債の件不認可の承認を經次で四十二年度民團歲出更正豫算及び岩崎民長出張中書記岡本保誠氏をして會計役臨時代理たらしむる事を異議なく可決し會計檢査委員[illegible]四十二年度所屬九月一日より十一月[illegible]日迄の會計檢査報告あり之る後協議事項に移り散會せしは午後十一時三十分なりき

●陸軍武官等の入京

第九師團參謀長砲兵大佐有田恕、第一師團參謀長步兵大佐橋本勝太郎、陸軍被服本廠附二等主計正河合元雄、第一師團司令部步兵少佐安原啓太郎、第七師團本部附步兵少佐石井敏四郎、參謀副官步兵少佐卯木菊之助、陸軍技術審査部工兵大佐今津義雄、重砲兵第五聯隊長砲兵大佐佐藤鋼四郎氏等の高級武官は一昨三日入京浦尾旅館へ投宿せり

京城民長の任命

議員に於て推薦せる京城民長候補者は既報の如くなるが統監府は右推薦報告に接すると同時に直に古城氏及菊地氏の履歷書を徵し詮衡の上古城氏に決し三日午後九時理事官を經辭令交附あり

●韓鐵合併進捗理由

韓國鐵道を鐵道院に合併する事は既に去月二十四日の樞密院會議を通過して今月一日發表の筈なりしが例の鐵道院服制問題決定せざる爲め斯く遲延したるも今明中に發表さるべしと云ふ

●北韓の慘害と當局

北韓暴風の難破は一報毎に甚大を極め其慘狀洵に痛絕悲絕の至りなるを以て農商工部は釜山水產組合本部及元山支部へ宛て詳細調査の上救濟の方法を講究し報告す可き旨通達したりと云ふ

●憲兵隊本部の移轉

駐劄憲兵隊本部は現在の廳舍は執務上不便多きを以て兩三日中現憲兵分隊南隣折せる所に修理を加へ終了したるを以て移轉することに決定したりと

●度支部大臣の歸程

高度相は豫定の如く三日桂大藏大臣同道にて大阪造幣局に臨み貨幣試驗を參觀したりしが四日同地出發歸途に就きたるが直行の筈に就き今夕歸京の筈

●各部豫算查定開始

各部より提出されたる來年度の豫算に對する查定は度支部司稅課に於て去る三日より審査に附せられたりと云ふ

●荻田書記官の渡英

日英博覽會事務取扱統監府書記官荻田悅三氏は同博覽會に參列する爲め來春早々渡英の途に就くべしと云へり

●岩崎仁川民長出張

仁川岩崎民長は神戶橫濱に於ける港灣組織調査の爲め來る十日頃出張する筈なるが往復日數一ヶ月間の豫定なりと

●模範場技師の入京

木浦勸業模範場技師佐藤政太郎同群山技師三浦直次郎の兩氏は要務を帶びて去る三日入京し巴城館へ投宿したり

●鏡城分隊長の更迭

咸鏡憲兵分隊長たりし憲兵少佐境野竹之助氏は中佐に昇進し北海道旭川憲兵隊長に轉補し其後任として金澤憲兵隊長白山精氏補せられ近日着任すべしと

●新民長就任の挨拶

古城新任京城民團長は昨四日曾禰統監、石塚總務長官事務取扱、三浦理事官を往訪し就任の挨拶を述べたりと

●伊藤公葬儀の寫眞

伊藤公爵未亡人は伊藤公葬儀の寫眞を韓皇后及嚴貴妃へ贈呈され兒玉書記官數日前夫れ〳〵捧呈の手續を了へたり

●行政調查會の幹事

京城理事官三浦彌五郎氏は今回地方行政調査委員會の幹事に任命されたり

●陸軍運輸部長着龍

陸軍運輸部長千秋大佐は同釜山支部長千葉少佐と共に昨四日午前龍山に到着

韓國銀行の披露

韓國銀行は豫定の如く四日午後一時より同行新建築に於て披露會を擧行したり來賓は日韓官民及重なる居留外人等一千五百餘名にして始めに市原總裁よりの挨拶あり次に石塚長官事務取扱李總理大臣及荒井度支部次官等の祝辭あり了つて食卓に就き後ち來賓思ひ思ひに摸擬店に入り歡を盡して散會したるは午後四時頃なりし

練習艦隊の着仁

練習艦阿蘇、宗谷は豫定の如く昨日正午旅順より仁川に入港し碇舶中なるが仁川民團よりは歡迎の意を表する爲め北白川宮輝久王殿下には寫眞ブック其他の候補生に繪葉書湯券及び乘組員には酒を寄贈し理事官は夜會を催ふす筈

練習艦隊の滯仁期

仁川に碇舶中なる我練習艦隊は來る九日迄同港に碇舶する豫定なりと云ふ

●澤田局長の出張

澤田地方局長は水原濱汀浦間道路開通に付地方行政視察を兼ね明六日同地へ向け出張すべし

●岩井警視の歸任

曩きに病后保養の爲め渡日中なりし警務局保安課長岩井敬太郎氏は三日歸任四日登廳執務す

●仁川の滯納處分

仁川民團四十二年度後期稅滯納者に對し來る十日頃督促狀を發する由なるが未納者過半なり

●鈴木技手の入京

全州種苗場長技手鈴木信太郎氏三日入京浦尾旅館投宿

●大町場長の入城

海州種苗場長技手大町藤太郎氏三日入京佐藤旅館投宿

●若松理事官歸任

平壤理事廳理事官若松兎三郎氏は三日出發歸任したり

●藤掛直一氏退京

金城金融組合理事の同氏は一昨三日出發金城へ歸任す

龍山通信

(三日　支局報)

▲軍用鐵路と電車　日韓瓦斯電氣會社が龍山新市街に電氣鐵道を敷設せんとし軍用道路使用許可を軍司令部に請願中なる由は曾つて報道し置きしが軍司令部にては內議許可に決したるものゝ如く軍司令官歸任の上は多分直ちに許可を與へらるゝならん而して其許可條件として許可の日より八箇月以內に電車の運轉を開始さるゝことゝなるべしと軍司令部の最上主計正は語れり

▲各隊の電燈點火　龍山に於ける各兵營には電燈架設中なりしが概ね竣工せしを以て愈々來る十日より點火の筈

▲輸入貨物の增加　世間不景氣の爲め韓人の窮乏甚だしく爲めに本年に入りてより韓人向雜貨の輸入大に減少したりしが穀類の收穫と同時に多少需用增加し殊に絹布紡績糸等は最近旬日の間に著しく輸入增加を見るに至れりと

▲米豆の出廻狀況　本年は大豆の相場米よりも宜敷く爲めに出荷は大豆の方多く鐵道沿線各產地より輸出しつゝあり而して京釜線に就て米の集散最も多きは平澤なるが太田以南は日本へ向け輸出し同地以西は當方面に輸送され居れり目下韓人は納稅期近づきたるを以て安價に拘はらず放賣する傾きありと

▲治外法權▼

昨紙の社說で述べた通り今より四年の後は南大門驛から巴里行の直通乘車券を賣出すことになる、其時ともならば政治も舊式を許さず、韓人も暴徒などをやつて居ることは出來なくなる、遲い樣でも早いのは日の經過ことである、各人須らく新時代に處する覺悟と準備とを爲すべきである▲伊藤公が殺された、警察が活動した、兇漢が法廷に立つたソウシテ證據調べが濟んだ之等の事實から打算するとドーモ磁石の針が向くべき方へ向かぬ樣だ▲韓國銀行は盛大なる披露會をやつた、シカシ披露會に於ける總裁の挨拶文では同行の營業方針は解せぬ、成べく政府貸上金にのみ腐心せず民間貸下金に勉强して貰ひたい▲大阪每日は下の如く報導せり曰く曾禰統監は病痾任に堪ざるの故を以て遠からず現任を辭し其後任は陸軍側の熱心なる希望に依り長谷川大將之を襲ふべく陸軍部內は近々實現せらるべき事實として此事を確信し居れり、曾禰子にしてホントに去るなら長谷川將軍の後任も要くはあるまい兎に角一說として聞き置く▲獨逸のコッホ博士は前年日本へ漫遊したときに下婢一人を雇つて本國へ連歸り下女は日本人に限ると褒めて居るソーだ、歐米では從來愛蘭土の女が相模房州の格で下女として一番良いとほめて居つたに其名譽を今度日本の女が代はつてとることになる武士道と下女が歐洲で持てるとは何たる因緣であらう。

京城居留民團公文

京城居留民團告示第二〇號
本月三日當民團民長ニ任セラレタリ
明治四十二年十二月四日
京城居留民團民長　古城菅堂

別項の如く三派の提携は愈々分裂したるを以て一進會は三日總本部に大會を開きたるが在京の會員約二百五十名地方より上京者八十餘名出席し日韓合併[illegible]

外人の忌[illegible]處分

三税及び地方税等に[illegible]し昨朝孰れも其手續[illegible]統監府は淸國人及外國人に向ても相當の處置を講ずる筈にて既に淸國領事の手にて取調べ中[illegible]

故伊藤公狙擊犯人安重根外八名に對する審問は滿洲檢察官の手にて[illegible]

關門附近暴風被害

▲五十年來の高潮　去る廿九日曉來の大暴風は啻に韓國內地沿岸に其暴威を逞ふしたるに止まらず我が日本全國を荒らし余波遠く米領加奈陀に及びたる由なるが之に就き聞き得たる所に從ひ其の一般を記さんに

▲門司方面　門司海岸にては二十九日午後十時頃より三十日未明に亘りて山陽連絡棧橋、石田棧橋等沈沒し大阪商船支店と門司水上署、三井倉庫前元稅關敷地附近缺壞し港務部裏手より白木崎淺野セメント會社に到る十町餘の海岸崩潰し其附近の石炭事務所の如きは五六間先きに吹き付けられ海岸に碇きありし下關要塞行き砲車八臺の如きは海中に吹飛ばされ海上にありても錨綱を切斷され危く沈沒せんとしたるもの七八隻に及びたるも水上署其の他の盡力にて彥島方面に避難せしめたり又た關門連絡船は二十九日午後七時三十分棧橋沈沒せしより關門渡海の途絕へたるを以て上下旅客は下關並に門司の兩市に宿泊し三十日朝に至り大阪商船支店の棧橋を借入れ直通連絡のみは辛ふじて開始し得たり陸上方面にて障子、屋根等を吹き飛されたるものあるも一般を通じて損害は意外に輕微なるもの丶如し沈沒棧橋の如きも天候回復後直ちに復舊の見込なりと

▲下關方面　海陸共に格別の被害なきも万一を慮りて今浦町、稻荷町其他一二の町は不寢番を爲し消防總出にて警戒に從事したるも僅かに市外豐浦郡安岡村に浸水家屋二十餘戶を見たるのみなりきと云ふ

▲福岡方面　は最も慘烈を極めたるもの丶如く廿九日夜十時頃より福岡署へ向け箱崎水族館よりは本館は潮水に圍繞せられ浮き二尺に及び何時洗ひ去らる丶やも圖り難しと云ふかあり次に市外豐平村より石堂川の堤防破壞せられ高潮襲來して人家菜園の浸水甚だしく危險に迫り[illegible]博多下洲崎町林商會及び冷泉町櫻井町方面其他より電話にて同方面の浸水は膝を沒するに至り婦女の避難荷物の運搬等混雜を極む警官並に消防夫の出場を望むと頻々として何れも高潮の浸入するを訴ふるより同署にては直ちに巡査の非常召集をなし夫れ／＼赴援せしめたるが此の混雜中倉は浸水の結果博多電燈會社發電所、築工事の假小屋に瓦斯盜し在りたる石灰より火を發し三間に七間の一棟同十二時全燒したるが一般騷擾を極めたる割合には被害の程度少なきもの丶如し其の他外洋に於ける慘事は別項記載の喜佐方丸の夫れに過ぎたるはなきが如し

喜佐方丸の沈沒

▲大連通ひの喜佐方丸　▲總噸數二千三百餘噸

六連沖盤の島を距る約四五海里なる大文字燈臺附近に於て沈沒船あることを去る三十日朝發見し（二十九日夜に於ける戶畑、小倉間の出來事と同時ならん）暴風雨中同沖合に一大海嘯起り是に遭遇せしものなるべく午前中は船名不明なりしも午後に至り第二喜佐方丸とて（二千三百七十三噸）橫濱山下龜三郎の所有にかゝり大連橫濱間の航路に當り居る持船なること判明したり、同船は去る二十六日午後五分豆粕を滿載し[illegible]九日正午門司港着の石炭二百噸を積み取り直に四日市を經て橫濱に向ふ筈なりしが當地にある山下龜三郎店內にては非常に[illegible]の遭難を氣遣ひ居りしが果然三十日[illegible]生野村字武久及び[illegible]沿岸に屍體の漂[illegible]數を增しやがて[illegible]人を數ふるに至り[illegible]知るを得たり元來[illegible]容はなく三名の女[illegible]ならんといふ乘組[illegible]船長は餅勇太郎[illegible]氣の氣象にて大事なく航海し居り[illegible]向前記漂着死體[illegible]

男子二十二人女子三[illegible]着し來るあり刻々[illegible]員は船長以下三十八[illegible]同船は荷物船にて乘[illegible]子のみ便乘せしもの[illegible]の暴[illegible]は恐るへ[illegible]たりと知人は語れり[illegible]の所持せし海員[illegible]共に下關水上の防[illegible]門水上署にては大阪[illegible]千二百三噸）を借[illegible]航せしが船體は總て[illegible]怒濤の上に現れ居る[illegible]存者もあらざりし[illegible]於ては店員數名を[illegible]の手當をなし死體[illegible]

白玉身受の魂膽

▲親元身受は眞赤な嘘　▲出所怪しき身受の金

去る十一月廿四日[illegible]突き返して目出度[illegible]母の膝下に歸りた[illegible]る當地新町菅森樓[illegible]立ち食い女郎白玉[illegible]筈に報道せられた[illegible]里橫濱の戀しい父[illegible]借金二百幾十圓を[illegible]

事本名小澤はな（二〇）の姿らしきをついる南三日前本町七丁目邊の菓子屋の店頭に認めたるより商に一つも異物の白玉君であるとすれば斯く申す三面子は讀者を欺せし事に當る故逃つた時は夫れとして一應探つて見ざる可らずと發し眼鏡押し拭いて見れば正に判然其の當人にして違つて居るのは頭髮の庇が引つ込んで上の方へ高くなり夫れが丸髷になつてるのとうどんの立ち食ひをして居ないで菓子を買つて居るのと丈け白玉だから白玉に似て居るのは不思議はないが不思議な程吃驚する程似て居る當人なるのみか影の形に添ふ如く引き添ふて行く男さへあるにぞ此れ見遁してなるものかと二人が行衛を跟けたるに手を引き合ひて京城座へと立ち入りたるを見屆けたるより四方八方へ手を回して探つて見たるに意外の魂膽、內緒、內情、秘密のあらゆる事情の判明したるを記さんに其の夜白玉のれいなと連れ立ちしは朝鮮側の官吏にて渡邊某（特に名を秘す）と云ふ父親さんより大事な突き出し以來の情人にて親元身受の名を以て樓主に突き戾したる前借金の二百何十圓も此の渡邊さんの懷から出たるものなるも其のれ金が何うして渡邊さんの懷に入りたるものなるかは渡邊さんも判然とは云ひ切られぬものらし尤も夫れが判然と誰れにでも云へる程なら何にも世間い手前を兼ねて親しい友人に披露もせずに置く必要はない筈なるが矢張り云ふに云はれぬ理由あるものとして根掘り葉掘り聞かぬが粹と云ふものか、それは扨て置き親元へ歸ると世間の人を欺きし白玉のれは今は明治町のさる溫突に渡邊さんと差し向ひでチン／＼鴨の小鍋立て「アレ、サアンされ開けなさいよ……ツラた美味でしよう……サ此度は妾にね」と梅雨にあつた飴の樣にドロドロ溶けて居ると知つたら腹の立つ人もあることとなるべし

退淸處分の漢の下宿屋荒し

▲日淸兩國を食ひ詰め　▲今又朝鮮で食ひ逃げ

原籍鹿兒島縣鹿兒島市山の口町八十四番地平民無職春日善左衛門（三九）といふ男は名前だけは天保式で極正直らしくあるが其實道奴なか／＼の橫着物にて內地を喰ひ詰め先年滿洲に渡りて相變らず惡辣手段のみを弄し一定の住所職業とてもなく詐欺賭博を殆んど定業の如く心得ね滿洲各地を彷徨して常に不正手段のみを働き居たるを早くも同人の暴勵監視中なりし奉天日本領事館にて其の行爲は居留地の治安に妨害あるものと認め遂に去る四拾一年二月向ふ二箇年間淸國在留禁止の處分を受けたるに善左衛門は流れ／＼て本年九月京城に入込み一仕事せんものと壽町三丁目十四番戶下宿屋の牧ぎし方に止宿して二箇月間滯在して宿料三十一圓餘になりたれば宿の嚴しき催促に居堪らず遂に宿料を踏倒して去る十一月廿二日窃に逃走して其後行衛不明なりしを訴に依り南部署に於て嚴重搜索中の處一昨三日午後七時日の出町中谷字市方に同人が潛伏せるを長野刑事の爲めに檢擧せられ本署に引致して司法警部に引渡して嚴重訊問中なり

南部太平坊の火事

△全燒八戶半燒二戶　△損害總額五千餘圓　△原因ランプの墜落

一昨三日午後十時四十分頃南大門通四丁目大廣橋畔附近太平坊一統一戶印刷業車在轍方の釣ランプ轉覆して忽ち大火となり一時に火の手を打揚げたるものなるが亂打せらる丶警鐘を聞きつけたる南部警察署當直警部は巡査數名を引率して現場に驅付け西部警察署にては佐竹巡査金監督巡査等出張し其他各警察署も非常應接をなし銅峴分署民團役所皇宮消防隊淸國領事館等の消防隊は逸早く現場に驅付けて消防に盡力したる結果同十二時全く鎭火したるが燒失せしは全部韓人家屋にして損害總額約五千餘圓なりしと場所柄なりしかば一時は非常に騷亂を極めたり

韓人銃殺者の不明

▲邦人銃獵者自轉車で逃ぐ

事は少しく舊聞に屬するも捨置き難き一事なり去十一月中の事自轉車を携へたる邦人銃獵者一人河陽街道にて銃獵を爲せるが如何にしけん附近に居たる一韓人を銃殺したり其者はこれはと計り驚きたるが應急の手當を施さんともせず直ちに銃を背負ひ自轉車に乘りて何所ともなく逃亡せり韓人は遂ひに絕命したり程經て通行人死體を發見し駐在巡査に急報し巡査出張して檢視を濟ましたるが爾後今日迄犯人の搜索中なるも未だ何等の手懸りをも得る由なり

東拓參事の詐欺取財

▲元朝鮮時事新報社長

元朝鮮時事新報社長にて當時東拓會社參事に奉職せる內山守太郎は釜山大鑑町家守要氏より詐欺取財の告訴を受け頃日來釜山地方裁判所に於て審理中なるが猶ほ豫審中に漏すれば其の詳細を知るに由緒なきも傳ふる所に依れば事件の進行に從ひ或は意外の邊に飛火するやも計り知るべからずと云ふ

●本日の集會說教　京城日本基督教會にては午前九時日曜學校同十時石原牧師の「靴を脫せよ」午後七時同牧師の「失はれたるもの」▲旭町二丁目日本メソヂスト教會にては午前九時半聖書研究同十時半禮拜とバプテスマの大典を執行し午後七時傳道說教▲日の出町京城基督教會にては午前九時日曜學校同十時禮拜說教に米澤牧師の「對照せられたる信仰美談」午後七時半同牧師の「希望ある人生」と題して說教ある筈にて參聽隨意なり

●西北學會の脫會者　西北學會中には西北出身の陸軍將校等ありしが[illegible]

●一駒の住替へ　仁川一山の一駒本名南トク（廿四歲）と云へば嘗に藝妓の溜に落ちた一件から數回本紙の平民文庫欄を賑はしたることあり同妓は容姿の美は賞するに足らざるも心根の優しきと藝妓としてのスタイルが乙に出來て居る處から兎も角も仁川花柳界の呼物として調法がられしが今回當地淸華亭へ住替へ昨日鑑札を受けたりと近來續々仁川より流れ込む藝妓中では慥かに一頭地を拔いた代物なり

●猩紅熱の豫防法　近頃學童の死亡者續出に就き其死因大に疑ふ可きものあり診察醫師は他の病名を付し居るも當局者は嚴重に調査を行ひたる結果猩紅熱流行の兆ありとし一般醫師に對し戒告を與へたるが是が豫防に就ては同病に犯かされたる患者は胸部或は四肢に發熱的斑點を生じ皮膚の龜裂を現はすを以て是に接觸せざる樣注意す可しと云ふ

●韓人の電信泥棒　仁川月尾島望樓備付の無線電信用銅板を一昨夜竊取しつゝありたる韓人を同望樓員逮捕して仁川署に突出したるが此韓人は同島居住の宿屋李中告方居住の石工田士日（二七）と云へるものにして他に連累者ある見込なれば搜査中なり

●浪花館の蕃明興行　豫て新築中なりし明治町二丁目定席浪花館は此程漸く落成せしかば今回大阪浪花節大一座を呼寄せ去る一日より華々しく蓋を開け木戶十五錢にて萬事平民主義を旨として觀客の取扱等も至極懇切なりと云ふ

●取消　本月一日の本紙趙農相の收賄說と題する記事に趙農相並びに安升玉等の反對側なる某の仲傷的投書の由に付き茲に該記事を抹殺す

●酌婦の檢梅　西部署にては管內に於ける料理屋飲食店の抱酌婦に對して昨日同署囑托醫に命じて檢梅を執行す

●一昨夜の新町　遊廓の嫖客は九十一人散財高四百六十八圓八錢なりき

吉凶　本町五丁目　三一館判斷

十二月五日舊十月廿三日九紫友引己亥たつ三りんぼ△一白 障害弁錯多きはなり愼重に事を處すべし旅行金談効なし△二黑 一生面を拓く日なり仕官就職依賴等効あり尙旅行轉住探檢調査等良し△三碧 權謀術數に陷るなかれ親近又は家庭內に煩累あり△四綠 方針替等好し證券印章に留意すべし△五黃 壯者は色情關係を愼しむべし快欣の日なり大抵の事吉執拗に偏して怨りある勿れ△六白 開店開業事業始め模樣方針替等凶婚姻連照團體組織に事は良好△七赤 新事及復雜込入りたる事は見合すべし盜失橫領防ぐべし△八白 盛運なり相談依賴等手應へあり尙建築金融の業務に良し△九紫 厄運日なり謹愼を要す鑛山冶金には最も凶

十二月六日舊十月廿四日一白先勝庚子のぞく△一白 盜難防ぎ旅行見合すべし奸計に乘ずる勿れ△二黑 不振の日新事及變更の事凶尙相談依賴婚姻等面白からず△三碧 利益を得若くは勢位を增すの日なり旅行開店開業婚約を結ぶに妙△四綠 顯進の日なり大抵の事支障なし散財衝突不和愼しむべし△五黃 紛爭衝突あり開店開業旅行撰擇方針替等凶△六白 人より相談依賴を受くるあり愼重に應酬すべし其他吉△七赤 快欣の日なり但し取引貸借上に留意すべきなり遊滯多し△八白 遺失盜害及詐謀防ぐべし新事及變更凶なり△九紫 勞して効なき日なり新事手控にすべし農林の業には吉

美術襟半帯 [illegible]
縮緬其他紐類各種
[illegible]丁目
るり德商店

▲無料紹介欄▼

人事部

●被雇たし 年三十五普通教育あるもの鑛山事業に多大の趣味を有す如何なる危險も不厭 姓名在社(四八三)

●被雇度 年三十三才貨物取扱及税關手續に經驗あり英語を解す商店又は會社は雇れ度し 氏名在社(四八五)

●女中入用 十五歳以上四十歳以下の上品なる女入用給料次第保證人を要す(家庭小人數) 龍山老松町三四見玉

●被雇度 年廿五寫眞術並に測量等に經驗有り 氏名在社(四八七)

●告上原氏 應募申込あれども通知するに由なし往復はがき又は郵券送付ありたし(係)

●徒弟入用 十三歳より十五六歳迄五六名採用 明治町一丁目 糸山裁縫所

●告ケーヂー生 紙上の匿名は可なるも絕對の匿名にては通信するに由なし故に住所氏名を本欄係宛にて通知あるも掲載を見合はす(係)

●望測量製圖助手 氏名在社(四九一)

●求職 昨今渡韓の青年拾九歳事務員又は商家に雇れたし氏名在社(四九〇)

物件部

●貸家 南山町二丁目二階建十疊と三疊と兩棟二階六疊二間兩棟井戸物置湯殿付家賃面談 氏名在社(四七八)

●貸家 北部齋洞廿九統四に安價の貸家韓家數間あり御希望の方は同所の内尾に就き聞合せあれ

●古新聞 六月後の大阪朝日、大阪毎日、京城日報七月後の朝鮮新報取揃原價の半額位にて讓受たし 氏名在社

廣告

統監府御用
宮內府御用
軸物、表裝、金銀屏風、額面、襖、壁張、天井張、雨戸、障子、硝子戸、其他表具、建具一式
表具建具 商 石川辰次郎
京城明治町(電話一一八七番)

開業廣告
旭町一丁目歌舞伎座前北側
旅館並高等御下宿 戎館
諸具新調し親切叮嚀を旨とし勉強仕候

歐米新式高等裁縫
龍山榮町 田口洋服店
電話三一二番

本品は其質優良にて營養分に富み日常の飲料として身體を强壯にし元氣を增し頗る衛生に補益有り

蜂印香竄葡萄酒

TRADE MARK
FRAGRANT WINE
MANUFACTURED BY D. KAMIYA
SOLE AGENT R. KONDO
TRADE MARK
近藤利兵衛

神戸資生分院 京城梅毒病院
京城相生町(南門湯横)
◎花柳病專門附、痔一般(注射療法)
●入院隨意●
院長 醫學得業士 藤田耕平

德山谷口製煉炭賣出廣告
●嶄新有益なる燃料
本品は長門國大嶺無烟炭を原料とし蒸氣機械を以て壓搾せし谷口煉炭なり、現時德山海軍煉炭所の御用炭として買上の榮を荷へり
●特色
火力は普通石炭に比し耐久力に富み室內暖爐用として第一腦に刺戟を與へず衛生上煤烟尠少人畜に及ぼす害なく火付頗る善く建物、裝飾品等汚濟の憂なきと實に文明的燃料として經濟上の面目を持てり一度御試用ありて其效力の如何を知り給はんことを
●化合原料 ピッチ一 有烟金田炭一 無烟炭八
韓國一手販賣 京城太平町二丁目(電話一一六七) 神田組

貨物運送取扱
稅關貨物取扱
貨物引換證發行
危險擔保附運送
品代金付貨物運送

內國通運株式會社
京城支店 京城南大門驛前 電話一七九番 電話七〇八番
仁川出張所 仁川驛前 電話五一一番
草梁 釜山出張所 釜山驛前 草梁驛前 電話五一六番 電話六三七番
龍山出張所 龍山驛構內 電話二〇六番

荒物世帶道具一切
大阪合製白絞油和洋蠟燭和傘岐阜提灯魚釣道具
卸小賣
地方在住の各位には御申越あり次第代金引替證付又は代金引替小包郵便を以て御送付申上候尚弊店營業品目錄御入用の御方は御通知あり次第送呈申上候

荒物世帶道具
各國諸油米穀
銘酒澤龜 アサヒ サッポロ 麥酒
並に買次業
京城本町六丁目
合西 西崎嘉七本店
電話長二一〇番(二ヵ又は二)
振替貯金口座東京(九四一七番)

原料直輸入廉價調製各種木形新着
弊店の特色御注文品と否とに不拘材料は精選しスタイルは嶄新の粹を集め常に諸彦の御滿足を得實地御試用被下度候
●京龍間は御一報次第店員を派し地方は御一報次第見本帳御送附可仕候
深ゴム靴 特價 六圓五十錢
アミ上靴
淺ゴム靴 五圓五十錢
東京 北村支店
京城本町一丁目(郵便局前) 店主 磯部廣吉謹

●電話開通 八百三十五番●
唐津石炭直輸入商
並ニ平壤無煙炭あり
京城太平町一丁目九五
南大門高等女學校裏通り
近藤商店

明治廿年七月創立
東京海上運送保險株式會社
資本金一千萬圓
京城代辨店 本町四 山口呉服店 電話九番
事務所 京城本町二の三 電話一〇六〇番

熱誠敏速ニ法律事務ヲ取扱フ
京城旭町一丁目六十七番戶
(紹介ヲ要セス)
辯護士 岡田榮
(電話三九八番)

大根大賣出
澤庵漬用大根
漬物用白菜
農商工部園藝模範場御拂下品
自園栽培
例年の通り品質特撰の上破格廉價を以て販賣仕候間續々御用命之程願上候現品配達は來る廿五日より開始仕候追て御希望に依り漬込の御囑にも可應申候
並に●鹽●糠●各種子●農具一式
京城本町一丁目(長谷川町筋)
三輪商會
電話三八六番

特約販賣
自製
漬物
味噌製造元
醬油
京城本町五丁目
大上商店
(電話二五一番)
和洋酒、罐精酎、穀物麵類銘茶、罐詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛、日本食鹽各種特約販賣尙御望に依り商品切手調進仕候

辯護士
特許辯理士
岩田仙宗
京城明治町二丁目(佛國教會前)
電話三五四番

蒸氣消毒牛乳
京城大和町一丁目
平山牧場
電話一三三

上等石炭各種
並に無煙炭販賣
京城本町二丁目
林田交換所
電話六十五番

移轉擴張
多年本町三丁目に於いて營業罷在り候處今回業務擴張の爲め左の所に移轉仕り候間從來の通り御引立御投宿之程伏て願上候
京城壽町一丁目一九(元牧野旅館跡)
御旅館 旭館
(電話六四五番)

開院廣告
本院は左記の時間割を以て左の諸氏に依賴し各科の診療に從事す入院の需めに應す
外科花柳病科 診察時間午前九時より正午に至る 前漢城病院長 ドクトルメヂチーナ 和田八千穗
內科小兒科 同 自午後一時至午後四時 前仁川病院長 醫學士 松村三省
眼科內科 同 自午後一時至四時 東京醫科大學選科卒業 院主 瀧澤喜太郎
耳鼻咽喉科 同 自午後一時至四時(但し毎月四回一日五日十五日廿[illegible]) 醫學得業士 赤羽[illegible]
婦人科 同 自午後一時至四時 醫學得業士 天ケ[illegible]
龍山居留民團囑託
龍山醫[illegible]
龍山榮町(文平山麓)

たやすくうります
綿わた綿ワタ
ふとん地色々、ふとん調進、太物類、洋物類
京城明治町一丁目四ッ角
卸問屋 唐川商店
電話二六一番

開業祝として一割引
かいき・まわた
進物用眞綿、眞綿製防寒具類
京城代理店 京城本町二丁目、長谷川町(へ通る)
栗[illegible]永商店

會席御料理御一人前
肴四品付酒二本
金六十錢
すき燒其の外應御好
京城[illegible]町一丁目
遊樂樓
(元三遊樓跡)

株式會社 第一銀行電話番號
總支店 長一三六〇番 國庫部、發行部用
一二六一番 支配人、調査部、文書課用
三三一番 國庫部、發行部、當直用
六三一番 臨時建築部用
一一〇番 用度係、分析所用
京城支店 長一一一番 來客用
六六一番 營業、當直用
營業用

宮內府御用
博物館御用
精寶を旨とし大勉强仕候也
古今美術書畫表裝、金銀屏風襖洋式天井張
壽町二丁目
表具 松月堂
電話千〇〇三番

陸軍諸官衙御用達
建築土工請負業
龍山老松町
磯口商店
電話一二九番

熱心單志多年爲斯道於難微義奥旨恍然似有得者匪啻醫推臆斷啝啝茫洋辭愈涵膓素面輕蟄也
易斷觀相教授
京城本町五丁目
三一館
館主 土御門派大陰陽師

[illegible]院○○隨意
南山町二丁目

各○○科○○診○○療
松岡醫院
電話六七五番

多年未拘萬事御便利ニ御扱申候
旭町二丁目
質 川崎
本町裏通北側
品物ハ大切ニ保管秘密嚴守仕候
電話六七三番

●●●
諸官衙御用達
西洋洗濯
あらいはり
迅速丁寧御一報次第參上可仕候
旭町一丁目
鈴木洗工場
電話申込中

日本郵船株式會社 電話十番
瀛船仁川出帆廣告
貨物及船客取扱店
仁川海岸通 電話三九番
郡回漕店
●釜山、長崎、門司、神戸行 山東丸 十二月十九日後三時出
●大連、太沽行 高砂丸 十二月廿一日正午時出
●大連、芝罘、秦皇島行 山東丸 十二月七日午前六時出
●大連行 酒田丸 十二月七日正午時出
●釜山出帆元山、清津、浦鹽行 立神丸 十二月八日午後時出
御注意 御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ五十分前ニ解纜ノ事